



大西さとし 市議会だより

2016. 4
No.020



高松市議会 平成 28 年

第 1 回(3月)定例会の報告

◆平成 28 年度 第 1 回(3月)定例会

高松市議会は、3月3日から24日までの22日間の日程で、平成28年第1回定例会(3月議会)を開催し、平成28年度一般会計予算など71議案、委員会提出議案1件を可決、継続審査としていた議員提出議案1件を否決しました。また、陳情3件を不採択としたほか、人事案件6件に同意するとともに、選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。

また、本定例会では、私が副委員長として所属する経済環境常任委員会において、1年間をかけ「**地域に根差したスポーツの育成と活用について**」をテーマに行った所管事務調査をとりまとめ、結果を提言いたしました。(所管事務調査の提言概要は以下のとおり)

1. 地域密着型トップスポーツチームの本市経済への影響について

- 試合を会場で見たいというファンを増やし、直接、足を運んでもらえるよう、トップスポーツチームの魅力向上につながるチームの技術レベルの向上に向けて働きかけること。
- このため、選手に対して高度な指導ができる指導者をチームが活用できるよう予算面を含め支援するとともに、商店街等への交流コーナーやトップスポーツチームのトータルカレンダーの作成・配布、練習会場での選手との触れ合いや選手の学校訪問など、チームの知名度向上とファンの拡大に努めること。
- 次に、県外からの誘客の項目として、観光地等で利用可能な特典つきのパンフレットや特産品の配布などを行うアウェイサポーターおもてなし事業等をカマタマーレ讃岐以外にも拡大するほか、観光業者等と連携して、情報発信を積極的に行い、県外からの誘客・リピーター客の増加につなげること。

2. 地域密着型トップスポーツチームの市民等への影響について

- トップスポーツチーム等と連携し外部指導者として活用することにより、学校の部活動等における指導者不足の解消や子供の成長過程に見合った質の高い指導を行えるようすること。
- また、スポーツ指導者の養成を望む声が大きいことから、スポーツ少年団などの地域競技活動などにおいて、トップスポーツチームのコーチや選手、また、体育大学卒業者等が、技術面だけでなく、肉体面・精神面も含めた指導者として、本市に根づく仕組みを確立すること。
- 次に、地域密着型トップスポーツチーム育成と活用における協働的取り組みとして、市民等の地域・クラブ・市役所が協働してチームを育成する意識を共有するため、それぞれの役割と取り組みの具体的ビジョンを明示し、特に、行政として、チームへの練習環境の拡充や、県外チームの先進事例の紹介などに積極的に取り組むこと。
- また、次期スポーツ推進計画には、本市関係スポーツ団体に加え地域密着型トップスポーツチームとの連携を盛り込んでいることから、今後、市民がスポーツを行う上でトップスポーツチームを十分活用できるよう、本市関係スポーツ団体等も交え、より連携を強固にするための協議の場を設けること。

◆高松市議会 第 1 回 議会報告会

高松市議会は4月24日(日)、市役所13階大会議室において、議員全40人により初めてとなる議会報告会を開催いたしました。

約100人の市民の皆様に参加いただき、3月定例会での審議内容を中心に報告を行い、ご意見をいただきました。

本報告会は、議会改革の一環として制定しました議会基本条例に基づき開催したものであり、今後においても市民の皆様の声をより反映し、議会の責任をより一層果たせるよう努めてまいります。

大西 智

平成28年度当初予算のポイント

◆平成28年度当初予算の特色

- 子どもたちが健やかに生まれ育つ環境の充実、元気をつくる産業、観光、文化芸術、スポーツの振興、また、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図り、次世代に元気をつないでいく予算。
- 一般会計の当初予算規模は、平成28年度からスタートする第6次高松市総合計画に基づく第1期まちづくり戦略計画重点取組事業である大型建設事業などにより、1,653億円で過去最大規模。

① 一般会計予算規模は、対前年度約51億円(3.2%)の増

- ・ まちづくり戦略計画登載の重点取組事業の積極的な推進を始め、待機児童解消対策などの少子高齢化に対処するための施策や大型建設事業の進捗などにより過去最大規模の予算を計上

② 重点取組事業は、125事業・約326億円を計上

(1) 健やかにいきいきと暮らせるまち

- ・ 妊娠期からの子育て世代包括支援事業、こども未来館等開館記念事業、私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業、子育て世代親元近居等支援事業、多子世帯保育

(2) 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

- ・ 伝統的ものづくり支援事業、瀬戸内国際芸術祭推進事業、障がい者スポーツ推進事業、海外・国内誘客促進事業、MICE振興戦略(仮称)策定事業、移住・交流促進事業

(3) 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

- ・ 新病院を核としたまちづくり推進事業、地域公共交通再編事業(新駅等整備事業)新都市交通システム導入検討事業

② 一般会計プライマリーバランスは3年連続の赤字

- ・ プライマリーバランスは、まちづくり戦略計画登載事業の積極的な推進などに伴う市債借入額の増加により、27年度に引き続き3年連続の赤字(▲約67.4億円)
- ・ 市債借入において、臨時財政対策債(▲約7.9億円)が減となるものの、栗林小・屋島中学校校舎等建設事業債(約14.5億)や西部クリーンセンター大規模改修事業債(約7.4億円)などが増
- ※ プライマリーバランス＝公債費－市債借入額

③ 一般会計では、依然として一般財源不足が生じ、基金を取り崩す状況

- ・ 一般財源不足は38億円(27年度18億円 27年度6月補正(肉付け後)28億円)となり、財政調整基金の取崩しで対応
- ・ 法人市民税の減や地方交付税・臨時財政対策債の減により、充当可能一般財源総額は、27年度当初予算と比べ、約18億円の減少

◆予算規模

【一般会計】

- まちづくり戦略計画登載の重点取組事業の積極的な推進を始め、待機児童解消対策などの少子高齢化に対処するための施策や大型建設事業の進捗などにより過去最大規模の予算を計上

(百万円・%)

28年度 当初	27年度 当初	増減額	増減率
165,300	160,200	5,100	3.2

【特別会計】

- 保険財政共同安定化事業に係る拠出金の減などにより、国民健康保険事業特別会計が、約30.2億円(5.2%)の減
 - 特別競輪(GⅡ)の開催などにより、競輪事業特別会計が約40.3億円(37.2%)の増
- (百万円・%)

28年度 当初 (10会計)	27年度 当初 (10会計)	増減額	増減率
114,388	111,792	2,596	2.3

【企業会計】

- 香東川流域下水道資産の購入に伴い、下水道事業会計が約68.7億円(32.3%)の増
- (百万円・%)

区 分	28年度 当初	27年度 当初	増減額	増減率
病 院	8,917	8,392	525	6.3
水 道	14,322	13,627	695	5.1
下 水 道	28,134	21,268	6,866	32.3

【全会計】

(百万円・%)

区 分	28年度 当初	27年度 当初	増減額	増減率
合 計	331,061	315,279	15,782	5.0

◆一般財源の状況(一般会計)

- 一般財源不足は38億円(27年度18億円、27年度6月補正(肉付け後)28億円)となり、財政調整基金の取崩しで対応
- 法人市民税の減や地方交付税・臨時財政対策債の減により、充当可能一般財源総額は、27年度当初予算と比べ、約18億円の減少

(百万円・%)

区 分	28年度 当初	27年度 当初	増減額	増減率
①歳入 一般財源	98,803	99,554	▲1,751	▲1.8
②歳出 所要一般財源	101,603	101,354	249	0.2
一般財源不足額 ①-②	▲3,800	▲1,800	▲2,000	▲111.1

活動日記



1/27
高松北ライオンズクラブ
献血啓発ボランティア



1/31
高松市
子育てシンポジウム



2/2
第18回香川県市議会議長会
議員研修会



2/7
高松市
合併10周年記念式典



2/11
「建国記念の日」を祝う
香川県民の集い



2/20
高松市
男女共同参画推進シンポジウム



3/7
高松市 ヨット競技場 (仮称)
建築工事安全祈願祭



3/16
木太北部小学校
卒業証書授与式



4/8
玉藻中学校
入学式



4/20
木太地区
交通安全活動



4/24
高松市議会
第1回 議会報告会



4/24
木太地区
第42回 町民大運動会

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒760-0050

高松市亀井町 7-9 高松電気ビル7階

TEL(087)837-2777 FAX(087)837-8783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

